



## 館長挨拶

『久方ひさかたの光のどけき春の日に  
しづ心なく花の散るらむ』

令和四年度がスタートし、こ  
こ夕鶴の里にもようやく春が  
訪れましたが、都会ではもう  
紀友則きのともりの歌そのままに慌ただ  
しく散りゆく桜を思う時、今、  
日本はもとより世界が日々コ  
ロナ禍に苦慮している最中に  
あつて、大規模な自然災害の  
発生やロシアのウクライナ侵  
攻など心ない出来事の数々  
にどうにかならないものかと  
本心に心が痛みます。

これまで先人が営々と築い  
てこられた歴史や文化が一  
瞬のうちに破壊され消えてし

夕鶴の里資料館報  
令和4年4月10日  
第 136号  
発行 夕鶴の里  
TEL 47-5800

まう悲しみはいつまで続くの  
かと思いつつ、一日も早く終  
息し、穏やかな日常に戻る  
ことを願ってやみません。冒  
頭の歌が千年の時を超えて  
詠まれ続けてこられた日本文  
化の尊さと奥深さは計り知  
れないものがあり、この貴重な  
文化遺産をどのように受け  
継いでいくかが問われているの  
ではないか思わずにおれませ  
ん。

夕鶴の里も平成五年の開  
館から二十九年目を迎える  
ことになりました。

これまで先輩諸氏のお力  
添えにより、地域の産業であ  
った青苧や養蚕をはじめ製糸  
業の歴史や民俗資料に関す  
る常設展示に加え、ひな飾り  
展といった企画展や特別展  
を織り交ぜながら事業を展  
開してきたほか、地域に伝承

されてきた昔話や民話を受  
け継ぎ、未来へと語り継いで  
いくという役割を担ってまいり  
ました。

今後におきましても先人か  
ら受け継いだ文化を大切に  
守り後世に引き継いでいくた  
めに

「見る、聞く、体験する」

の三つのキーワードをもとに  
幼児から高齢者まで老若男  
女を問わず幅広く楽しみ親  
しんでいただける生涯学習施  
設としての位置づけを明確に  
し、職員一同一丸となって取  
り組んでまいりますので、これ  
までと同様に御支援御指導  
賜りますようお願い申し上げ  
ます。

夕鶴の里館長 高橋大吉



## 民話会ゆうづる

### 活動紹介

令和三年度も引き続きコロ  
ナ禍の中でしたが、夕鶴の里  
に来館されたお客様に語り  
を聴いて頂きました。また、各  
地区のサロン等からの要請に  
より出前口演も行っておりま  
す。

三月は、沖郷小学校放課  
後子供教室とみんなの茶の  
間「駅前ひろば」に行つて口演  
してきました。



沖郷小学校  
放課後子供教室風景

みんなの茶の間「駅前ひろば」  
での出前口演



